

2024年度 活動報告 ・ 2025年度 活動計画

# 展示委員会

2025年 6月 23日

---

委員長  
浅野 博史

# 展示委員会の概要

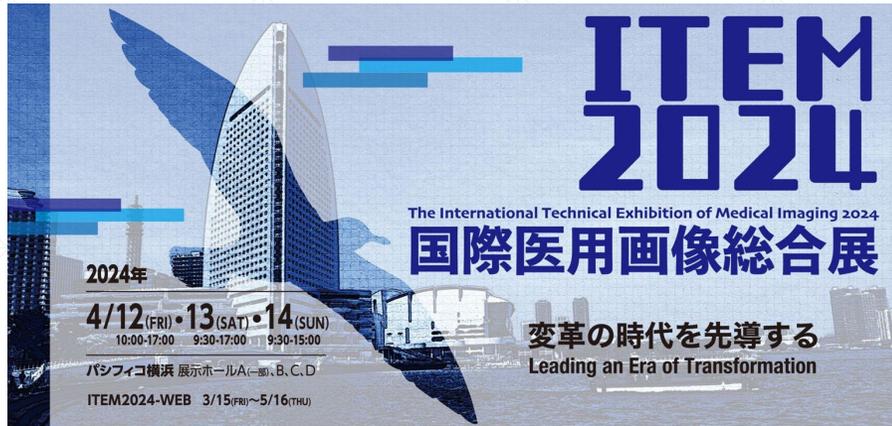
- 展示委員会の組織
  - 業務担当理事 : 川原芳博 (富士フィルムメディカル(株))
  - 委員長 : 浅野博史 ((株)島津製作所)
  - 副委員長 : 小柳諭 (富士フィルムメディカル(株))  
: 四方康 (コニカミノルタジャパン(株))
  - 委員 : 傳法昌幸 ((株)根本杏林堂)  
: 勝谷拓実 (シーメンスヘルスケア(株))  
: 野川明子 ((株)フィリップス・ジャパン)  
: 小森佳恵 (キヤノンメディカルシステムズ(株))  
: 宮谷美行 (キヤノンメディカルシステムズ(株))  
: 田中理恵 (GEヘルスケア・ジャパン(株))  
: 小林弘幸 ((株)根本杏林堂)  
: 俣野公志 (株式会社ネットカムシステムズ)  
: 森修倫 (富士フィルムメディカル(株))  
: 遠藤裕 (富士フィルムメディカル(株)) →5/1からJIRA事務局異動

# 展示委員会の活動概要

- 役割と基本方針
  - 展示委員会は、JIRAの中核事業である展示事業における計画を立案し、事務局と協力し円滑な展示会運営を推進する
  - コンプライアンスの徹底、薬機法及び個人情報保護法、展示要項を順守し、労災事故防止等、安全な展示会運営を行う
  - 過去のハイブリッド展示の経験を踏まえ、効果が出ている現行企画を継続・成長させ、より来場者に魅力ある展示会を実現させる
  - 情報デジタル化を進めている中、現状の情報プラットフォームを改善し、更なる利便性向上を目指す
  - 大企業から中小企業の出展各社が、公平且つ効果のある参加が出来るように努める
  - 将来の為に他業種Web展示会のノウハウを取得する

# 2024年度 活動報告

## (1) ITEM2024：企画、開催期間中の運營業務



- パシフィコ横浜オンサイト展示：2024年4月12日～14日、WEBサイト：2024年3月15日～5月16日
  - 出展社数 147社（対ITEM2023 4社増）、出展面積 8,573㎡（同 199㎡増）
  - 実入場者数 18,451名（対ITEM2023 17,064名 108%）
  - 企画コンセプト：「Maximize the value of REAL exhibits」 REAL展示の価値最大化
    - 展示企画やITシステムサポートによりREAL展示をより充実させる
    - REAL展示と密に連動したITEM-WEBによりITEM全体の価値・利便性を向上させる
      - REAL会期前：REAL展示の現地参加に誘導する
      - REAL会期中：REAL展示現地での利便性向上
      - REAL会期後：REAL展示レポート等の配信により事後の情報共有を可能にする

# 2024年度 活動報告

(ITEM2024報告続く)

- 日本医学放射線学会 (JRS)、日本放射線技術学会 (JSRT)のITEMツアー協力
- 関連産業振興委員会ITEM研修会協力
- パシフィコ横浜会場来場者 (学会登録者・ITEM登録者) 情報の出展社への提供 ; SCAI
  - ITEM2023の試行を経て、全出展社へ無償サービス提供し、35社が実使用。トラブル報告無し
- 労災事故、サイバーセキュリティ障害・不具合発生なく終了

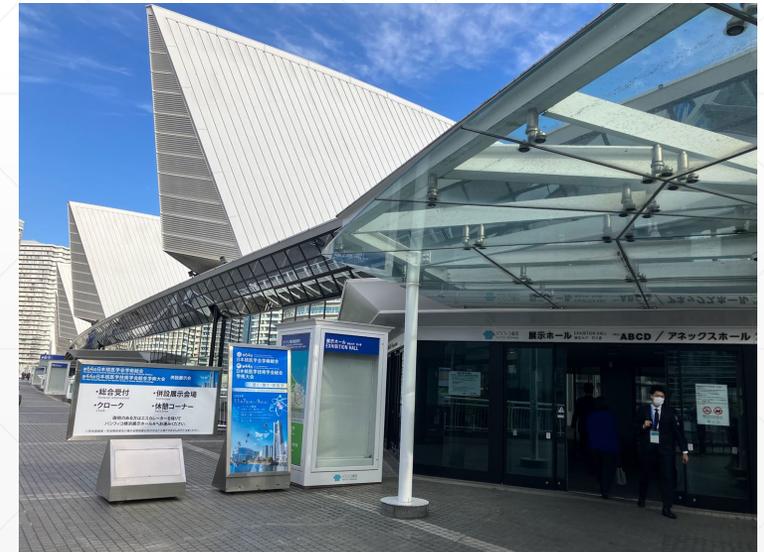
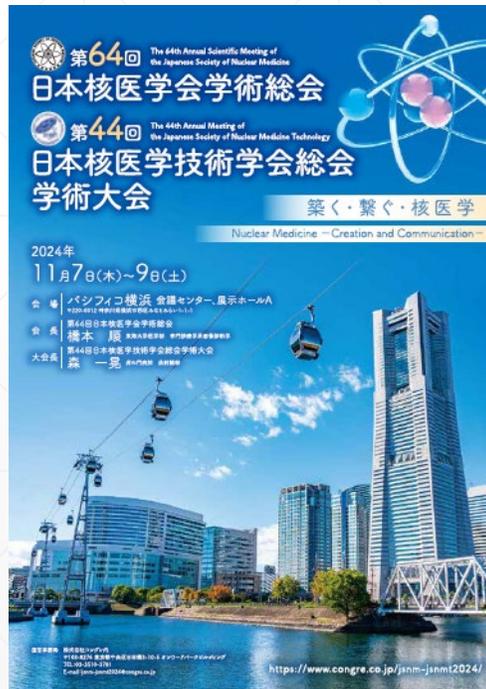
(2) ITEM2025 (ハイブリッド) 開催に向けた準備計画の対応

- 企画コンセプト : 「Accelerate the appeal of real exhibits」リアル展示の魅力を加速
  - 展示企画やITシステム強化によりREAL展示をより充実させる
  - REAL展示と密に連動したITEM-WEBによりITEM全体の価値・利便性を向上させる
    - ITEM2024のコンセプトを踏襲し、REAL会期前、会期中、会期後の効果的公開・イベントを検討する
- パシフィコ横浜会場来場者 (学会登録者・ITEM登録者) 情報の出展社への提供 ; SCAIの利用拡大を見込む
  - 学会登録者 (承諾者) のEメールアドレスも収集できるようになった
- JRC (JRS、JSRT、JSMP)、関連産業振興委員会のITEMツアーをサポート : 最終日 (4月13日) にツアーを開催
- ゼロ労災徹底 : 説明会での安全確保要請、設置当日の巡回とチラシ配布
- 展示初日Bホール入力ゲート付近の混雑対策 : 整列規制でエレベーターホール前スペース確保

# 2024年度 活動報告

## (3) 第64回日本核医学学会学術総会、第44回日本核医学技術学会総会学術大会併設展示会

- パシフィコ横浜 展示ホールA：2024年11月7日～9日展示
  - 出展社：33社268㎡（2023年@グランフロント大阪 30社239㎡）
  - 学会現地参加者1,500名（学会登録者は2,160名）
    - 学会はハイブリッド開催であったが、展示はREALのみ実施



# 2025年度 活動計画

- 国際医用画像総合展、日本画像医療システム産業の発展に貢献する展示会の企画を立案し、円滑な展示会運営を推進する。
  - 近年のリアル・WEBハイブリッド展示会の経験を基に、WEB展示はREAL展示の副次的な活用とし、REAL展示の価値最大化を狙い、ITEM、核医学総会併設展示会において、出展社・来場者が参加し易く、より有用な展示会となることを目指し、以下の施策を実行していく
    - コンプライアンスの徹底、薬機法及び個人情報保護法、展示要項を順守し、労災事故防止等、安全な展示会運営を行う
    - 過去のハイブリッド展示の経験を踏まえ、効果が出ている現行企画を継続・成長させ、より来場者に魅力ある展示会を実現させる
      - リアル展示参加へ回帰しており、リアル展示会参加者の利便性を高めていく
    - 情報デジタル化を進めている中、現状の情報プラットフォームを改善し、更なる利便性向上を目指す
      - 出展社の作業容易化をさらに進める
    - 大企業から中小企業の出展各社が、公平且つ効果のある参加が出来るように努める
    - 将来の為に他業種Web展示会のノウハウを取得する

ご清聴  
ありがとうございます  
ございました

**JIRA**

一般社団法人 日本画像医療システム工業会  
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association